



2016年7月2日（土） 西沢渓谷

Report by Kumamoto

今回は梅雨の合間を縫って、日本屈指の渓谷美を誇る西沢渓谷の滝巡りをしながら、マイナスイオンを浴び、森林浴によって森林セラピーと涼を楽しもうと企画しました。

参加者は大瀧さん、山川さん、川島さん、中島さん、小山さん、布目さんの女性6名に、松延さん、根岸さん、熊本の男性3名の計9名になりました。



高尾発 7:26 小淵沢行に左から中島さん、小山さん、山川さん、布目さん、川島さんと熊本が乗車



大月から乗車した松延さん、根岸さん、大瀧さん。
松延さんは熊野古道、大瀧さんは金時山から2回目



塩山駅に 8:44 に
到着し 1 番バス乗
り場で、
9:05 発の西沢渓
谷行のバスに並ぶ



バスの待ち時間を利用して個々にストレッチなどして準備に怠りない



我々 9 名は先頭に並んだお陰で全員座
れたが、立ち席はギュウギューの寿司
詰の状態で発車、これで約 1 時間の立
ちっぱなしは辛いだろう。



バスは定刻より 5 分遅れて、西沢渓谷入口バス停に到着(10:10)。

即、舗装林道を笛吹川上流に向かって進む



ナレイ沢橋から最初の滝「ナレイの滝」が
見えたが、遠く小さい滝で、あまり迫力は
なかった。



出発から 20 分進むと、案内版（鳥瞰
図）や、休憩舎とトイレがあり、
ここで渓流遊歩道歩きの準備を整える



出発前の集合写真を撮り、メンバー相互の紹介を行いスタートする (10:30)

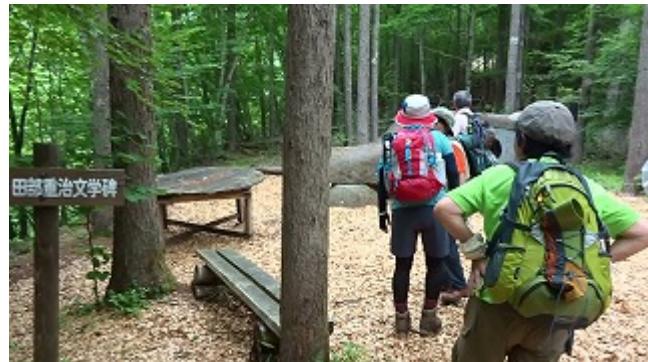


10分程進むと、丁度一ヶ月前に登った甲武信ヶ岳の西沢渓谷からの登山口（戸渡尾根コース）が現れた。

これを横目に見ながら更に先に進む。



暫く進むと西沢山荘が出てきたが、寂れしており、廃業していた。この裏から甲武信岳への徳ちゃん新道がある



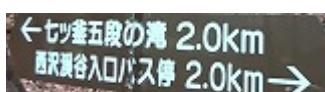
北アルプスや秩父山塊に造詣の深かった文学者田部重治氏の笛吹川に思いを馳せた文学碑があった。



西沢山荘から2,3分で「二俣吊り橋」が現われた。この橋の右側上流は東沢につながる。

橋の中央から右方向正面に「鶴冠山（とさかやま）」が見える。

我々はこの二俣吊り橋を渡り西沢渓谷の上流へと進む。(10:50)



丁度、この辺りが、距離的には西沢渓谷の終点「七つ釜五段の滝」とバス停との中間点だ。



出発してから 50 分で、前方に階段状の急な登りが出てきた。その登り口が「大久保の滝」の展望台になっており、滝は対岸に流れていた。(11:00)



急階段を一気に登ると今度は沢に向かって急な下りだ。慎重に降りよう。



下り切ると、そこは「三重の滝」だった。更に展望台まで下りて行く。



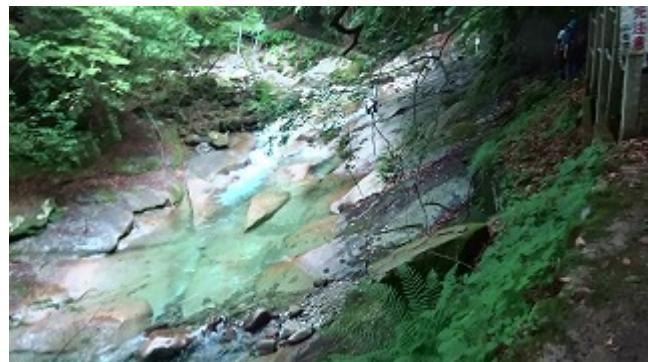
「三重の滝」は滝の落ちる音も大きく迫力があった。
涼しくて気持ちが良い。
(展望台から)



「三重の滝」展望台で写真を取る面々（11:05）



苔むした岩壁の狭い遊歩道を、鎖を頼りに・・・
写真に夢中だった中島さんが滑ったのはこの付近？



下を見ればエメラルドグリーンに輝く川底



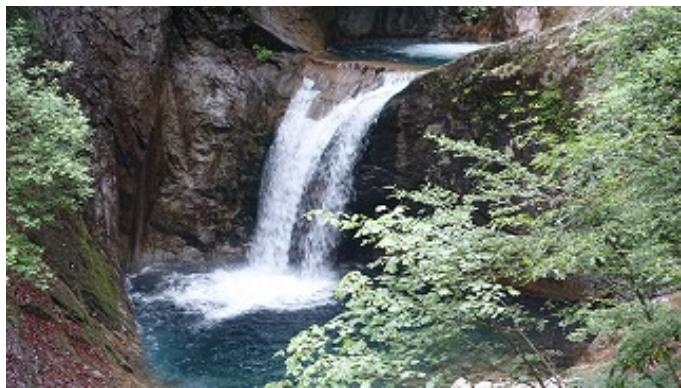
次は、
沢の中に大きな岩があり「フグ岩」とあった。
何となくそれらしく、見えなくもないが・・・



次に現れたのは「人面洞」だ。左の洞は見方によって人の顔に見える（上がおでこ、窪みに眼？）
ここでも、水は澄んでおりエメラルドグリーンの輝きに癒される。



大きな石がごろごろした沢歩きや、岩壁脇道のアップダウンを繰り返し上流へ進む



11:22 「竜神の滝」に来た。滝壺に落ちる勢いがすごい。



名前の様に優しい「恋糸の滝」



滝壺



11:30 更にアップダウンを繰り返しながら渓谷の上流を目指す。



「貞泉の滝」を背景に記念の集合写真：合成版 （11:30）



母胎渓やカエル岩を超えた頃、11:50になり、「シャリバテだー」と誰かの声が聞こえてきた。

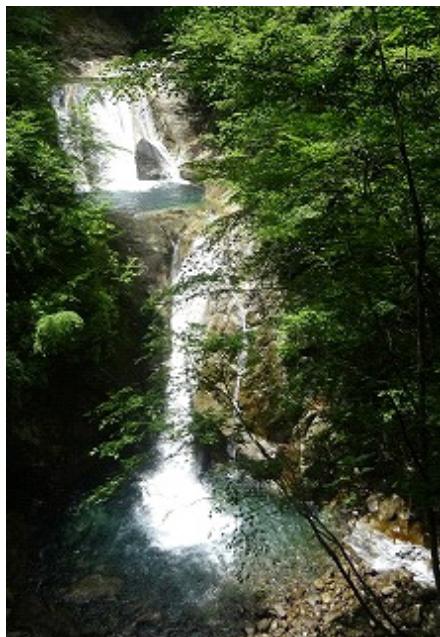


出発してから、ここまで滝を見ながら進んできたが、道が細く、休息が取れなかった。

約2時間経って、やっと「方杖橋」に来て、ここで給水タイムの小休止を入れた(12:00)



次の滝までは更に高度を上げなければいけない。汗をかきながら頑張る。



「七つ釜五段の滝」

左写真は上部、
右写真は下部

落差は 50m でその美しさから、日本
の滝 100 に選ばれている。

12:05 西沢渓谷の終点「七つ釜五段の滝」を見て、旧森林軌道までの最後の階段状の急登を詰める



旧森林軌道まで登り切り、12:30 遅い昼食となって、ホットする。



昼食後、記念写真（合成版）を撮り下山に入る。これから登りがないと安心し満面の笑み。

下山は軌道跡に沿ってネトリ大橋へ向かう(12:55)



軌道跡に沿って

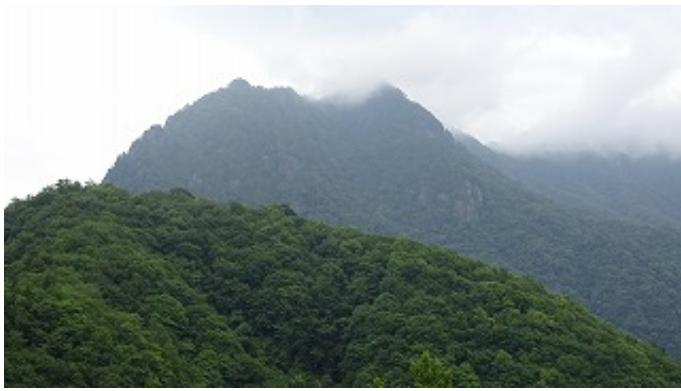


中島さんはアクションカメラを持ち込みトライアル



軌道は西沢・東沢一帯の木材搬出に昭和8年から43年にかけ、塩山駅まで36kmの距離を、トロッコが搬送で活躍したこと。
そのトロッコ再現が展示されていた。





大展望台に着き、鶴冠山(トサカヤマ)・木賊山(トクサヤマ:甲武信岳は後ろで見えない)を見上げる(13:15)



途中「山の神」が祭られており、無事下山を祈願(13:40)



14:00 ネトリ大橋に到着、上空には青空が広がっていた。ここからバス停は近い



足取りも軽く、14:20 に西沢渓谷入口バス停に到着、出発の 20 分前に着いた。

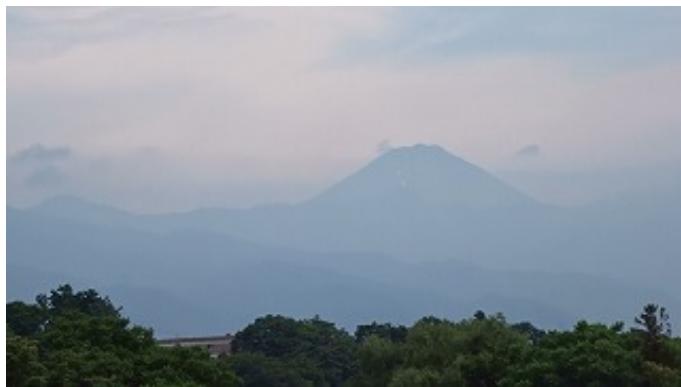


ザックが重いと嘆いていた川島さんはザックの背負い方も分からず、皆で教育的指導。

14:40 の塩山駅行バスに乗り約 40 分で放光寺入口で途中下車。



「しんはやぶさばし」を渡ると正面が、目的地「はやぶさ温泉」である。



橋の中間付近で富士山が綺麗に見えた。



15:40 に、はやぶさ温泉に到着。
天然・源泉 100%掛け流しの単純
アルカリ泉で、つるつる泉質だ。



汗を温泉で洗い流し、乾いた喉に生ビールが染みる。今日のメンバーは酒豪の集まりだ。



1時間ほど、入浴休憩してタクシーで塩山駅に向かいました。
根岸さん、中島さんは「特急はまかいじ」で横浜へ、他のメンバーは「快速ビューやまなし」で立川・新宿へと帰路に着きました。

天候に恵まれマイナスイオンを浴びて身も心も浄化された一日でお疲れ様でした。

西沢渓谷で出会った花は、シロバナヘビイチゴ（上中央）、トリアシショウマ（上右）、ノリウツギ（下右）等白い花弁の花が多かった。 シャクナゲの群生地があり、次回はゴールデ ソウイーク明けの頃が良いでしょう。

